

富士見市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和44年条例第16号）新旧対照表

新	旧
<p>(議員報酬)</p> <p>第2条 議長、副議長及び議員の議員報酬は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 議長 月額 <u>450,000円</u></p> <p>(2) 副議長 月額 <u>400,000円</u></p> <p>(3) 議員 月額 <u>379,000円</u></p> <p>第3条 議長及び副議長には、選挙されたその日から、議員には職に<u>就いた</u>その日からそれぞれ議員報酬を支給する。</p> <p>2及び3 (略)</p> <p>(期末手当)</p> <p>第5条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 前2項に定めるもののほか、期末手当の<u>支給</u>については、富士見市一般職の職員の給与に関する条例(昭和31年条例第7号)の適用を受ける職員_____の例による。</p>	<p>(議員報酬)</p> <p>第2条 議長、副議長及び議員の議員報酬は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 議長 月額 <u>440,000円</u></p> <p>(2) 副議長 月額 <u>390,000円</u></p> <p>(3) 議員 月額 <u>369,000円</u></p> <p>第3条 議長及び副議長には、選挙されたその日から、議員には職に<u>ついた</u>その日からそれぞれ議員報酬を支給する。</p> <p>2及び3 (略)</p> <p>(期末手当)</p> <p>第5条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 前2項に定めるもののほか、期末手当の<u>支給方法</u>_____は、富士見市一般職の職員の給与に関する条例(昭和31年条例第7号)の適用を受ける職員(<u>以下「一般職の職員」という。</u>)の例による。</p>